

トーマス・マン *Thomas Mann* 生誕150年記念 講演会のご案内

「昭和100年」と言われる2025年は、「トーマス・マン生誕150年」でもあります。
マンは20世紀を代表するドイツの作家で、1929年にノーベル文学賞を受賞しました。
九州大学文学部独文学研究室と九州大学独文学会は、マン文学を愛読する
二人の作家をお迎えして、下記のとおり記念講演会を行います。
奮ってご参加ください。

4/26 [SAT] 15時30分から(開場15時)

会場・九州大学伊都キャンパス・イーストゾーン
イースト1号館1階、E-B-112講義室

アクセス <https://www3.lit.kyushu-u.ac.jp/access.php>

講演

1

新訳『トニーオ・クレーガー』
への挑戦



©Chika Oguro

小黒 康正

九州大学文学部教授、日本独文学会会長。
著書に『黙示録を夢みる時 トーマス・マン
とアレゴリー』、『水の女 トポスへの船路』、
『対訳 ドイツ語で読む「魔の山」』。2024年
5月にNHK「100分de名著『魔の山』」に出演。

講演

2

ゲーテに倣いて



©朝日新聞出版写真映像部 上田泰世

鈴木 結生

作家。『人にはどれほどの本がいるか』で
第10回林芙美子賞佳作、『ゲーテはすべて
を言った』で第172回芥川賞を受賞。最新
作は『携帯遺産』。

講演

3

芸術とその“重み”～
『ファウストゥス博士』より



©Tamaki Yoshida

平野 啓一郎

作家。『日蝕』で第120回芥川賞、『決壊』で
第59回芸術選奨文部科学大臣新人賞、
『ドーン』で第19回Bunkamuraドゥマゴ文学
賞、『マチネの終わりに』で第2回渡辺淳一
文学賞、『ある男』で第70回読売文学賞、
『三島由紀夫論』で第22回小林秀雄賞を受
賞。最新作は短篇集『富士山』。

申込先 九州大学独文学会事務局(kdb.shomu@gmail.com)に、①お名前と②ご所属を明記した電子メールをお送りください。
定員200名になり次第、締め切りとさせていただきます。

九州大学文学部独文学研究室
九州大学独文学会 小黒 康正